



道又秀悦議員

水産行政

町民にアサリ貝開放を

その方向で対応している



春の恒例行事となっている「やまだアサリまつり」。今年は町内外から8,300人の家族連れで賑わいました。(織笠川河口)

質問

山田湾全域漁場の「アサリ貝」資源を保護するため、町内漁協の組合員（家族を含む）以外の人漁が平成十五年九月一日から禁じられている。

① 山田湾の「アサリ貝」資源の数量の推移は。

② 漁業権設定の経緯は。

③ 潮干狩りを楽しみにしている町民に開放しては。

沼崎町長

① 町内のアサリは、自家消費的な漁獲が主であり漁獲統計や生息密度に関する調査資料がないため、実態については、分から

ない。

② 漁業権設定の目的は、誰でも取り放題の状況に歯止めをかけて資源を保護し、アサリまつり用に放流したアサリを参加者に確実に採取させるためと聞いている。漁業権管理委員会が漁業権設定を方向づけ、平成十五年の通常総会で議決し、九月一日から行使規則が認可された。

③ 漁業権管理委員会で一般開放を検討中と聞いている。町からも水産懇話会の方で町民への一般開放をお願いしている。

町の考えを聞く

社会教育

町立図書館整備を急げ

第8次計画で早期実現を目指す

質問

昨年五月に地震の被害を受けた町立図書館は、中央コミュニティセンターに機能を移転しての利用であり、町民に不便をかけていることを心配する。また、現在の図書館は静かに読書する環境にないと考えるので次の点を問う。

① 蔵書冊数は約六万冊であるが、現在の図書館に陳列してある冊数はいくらか。

② 早い時期に図書館整備を進めてほしいが見通しは

どうか。

沼崎町長

① 冊数は約一万五千冊ぐらいである。

② 町立図書館は現在コミュニティセンターで開館しているが、この現状を長期に続けることは好ましいことではない。

今後、施設の設置や管理運営などについて、第8次総合発展計画の早い時期に町立図書館の実現を目指して、検討していく。



昨年の三陸南地震被害によりコミュニティセンターに移転した町立図書館